

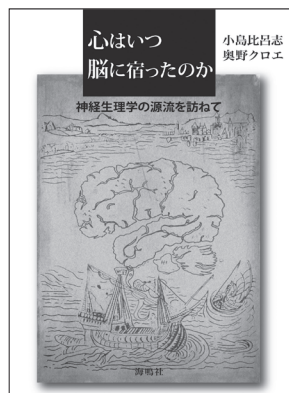
海鳴社の 新刊

古代エジプトから量子力学の応用まで、「心」のありかを探る壮大な歴史

小島比呂志・奥野クロエ著

心はいつ脳に宿ったのか

— 神経生理学の源流を訪ねて



■ 絵画の歴史と科学の歴史には、相関関係があると言われている。ルネサンス期、オランダ絵画の隆盛とほぼ時期を同じくして脳・神経科学にも大きな転換点を訪れた。それと対応する転換期は、アラビアからギリシャ・ローマ時代の成果の逆輸入に始まる西ヨーロッパの文化的発展期である。■ 17世紀の科学革命と脳・神経科学の関連を考えるうちに、デカルトの存在が浮かび上がってきた。そこから意識やクオリアの問題と自然科学との関係に注目。■ 本書では、以上のような視点で脳・神経科学の源流をたどり、同時に神経科学の側からこの問題の哲学的側面も考えてみた。■ 神経科学の研究に携わる学生や研究者にとって、①脳の科学史の入門書、②自然科学（神経科学）の基本原理解である物理学との関連も考えるきっかけ、③心身問題の哲学的側面の入門書、となりうる。さらに④フランス科学思想史の紹介にもなっている。

■ 小島比呂志
福岡県生まれ。京都大学大学院医学研究科生理系専攻、博士課程修了。京都大学医学博士。フランス国立科学研究センター、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、プリンストン大学など海外の研究機関で計12年間、神経生理学の研究に従事。

■ 奥野クロエ
静岡県生まれ。7歳から28歳までパリで過ごす。パリ第3大学（ソルボンヌ校）応用言語（仏・英・日）学部、政治・経済学科修士課程修了。読売新聞社パリ支局を経て日本に帰国。現在フランス語講師、翻訳、ナレーションなどの分野で、バイリンガルの仕事に従事。

● 7月10日までにお返事ください

新刊	
帳合	海鳴社 小島比呂志・奥野クロエ著 委託
冊数	心はいつ脳に宿ったのか
	A5判上製／350頁／本体3500円
	ISBN 978-4-87525-334-1

好評発売中	
帳合	海鳴社 布施英利著 返条付注文（辻II了解）
冊数	人体 5億年の記憶
	46判上製／248頁／本体2000円
	ISBN 978-4-87525-330-3

■ ⇒ヒトの心と体が5億年の歳月を経て成立したことを忘れるな——養老孟司・推薦 ■ 忽ち4刷

Fax : 03 - 3234 - 3643